

## 【参考資料3】

### これまでの各種調査概要

---

1. 建設業者との意見交換の概要について
2. 地域(市町村)へのアンケート調査の概要について
3. 建設業者へのアンケート調査の概要について

国土交通省 北海道局

平成21年10月

# 1. 建設業者との意見交換の概要について

# 1. 意見交換の概要について

## 【意見交換の概要】

実施箇所：旭川開発建設部管内の建設業者（4.20：5社、5.13：5社）  
室蘭開発建設部管内の建設業者（4.20：10社、5.15：10社、5.20：11社）  
帯広開発建設部管内の建設業者（4.21：6社、4.27：8社、4.28：6社）  
調査期間：平成21年4月20日～5月20日  
実施方法：各開発建設部 部長、次長 と 地元建設業者との意見交換

## 【意見交換内容】

1. 北海道の建設業が、今後どうあるべきと考えているか
2. 企業として、どんな企業を目指しているか
3. 企業の存続・業容拡大に向けて、今後何をしたいこうと考えているのか  
（仮に、本業に専心したいということであれば、その中でどうしたいのか）
4. 建設業の維持・発展のため、行政全体に望むことはあるか
5. 発注者としての北海道開発局に何を望むか
6. 地域のニーズにはどんなものがあると考えているか。また、それに建設業としてどのように応えることができると考えているか
7. その他

## 【共通した意見】

（今後の方向性や取組）

- ・本業を中心としながら、他の分野への進出が重要
- ・災害対応や雇用面等において役割を果たし地域からの信頼を得たい

（建設業へのニーズ）

- ・災害発生時の対応や冬期の除排雪が地域のニーズと考えている。

## 2. 意見交換結果の概要(旭川)

(注)各社からの意見に統一が取れているわけではない(相矛盾する意見もある。)

		旭川	
		4月20日	5月13日
北海道の建設業が、今後どうあるべきと考えているか。	地域雇用、生活環境の整備、災害対応など地域の重要な役割を継続 入札における業界としての棲み分けを明確にすべき		本業以外の事業展開も併せて考えていかなければ今後生き残っていくことができない。 「指定管理者制度」への参加 企業として官需と民需のバランスが必要 M & Aで異業種(民需の事業分野)を取り込んでいくことも一つの方法 異業種へ参入には事前の十分な検討が必要。なお、建設を核にそれに近い部分(廃棄物など)で事業を拡大していくことも重要
企業として、どんな企業を目指しているか。	社会に貢献するとともに、社会から信頼され、必要とされる企業を目指す		
企業の存続・業容拡大に向けて、今後何をしたいと考えているのか(仮に、本業に専心したいということであれば、その中でどうしたいのか。)	基本は本業専心。 ただし、土木建設に密接に関連する分野での事業展開は検討		
建設業の維持・発展のため、行政全体に望むことはあるか。	民事再生にかかる業者は再生計画が完了するまで公共事業に参加させない WTO以外の工事は道内で受注 調査基準価格の引き上げ、適正な落札率 廃業希望会社が、廃業できる措置 設計変更の考え方が監督員で変わる 3月末の銀行への入金が可能となるよう適切な工期の設定(経審に影響) 補正等については、経済対策の趣旨を踏まえ、1社あたりの受注件数を制限するなどの措置 監督員は現場に足を運んで、現場をよく理解		低入札に係る調査基準価格の引き上げ 難易度が高い工事以外は地元企業が施工できるような措置 監督員のレベルアップと、「現場代理人と同じ目線」 作業員の需給調整の観点から、人材が流動化できる仕組みの導入 積算に反映されない「地域貢献」「社会貢献」という名のサービスの要求の自粛 竣工検査等における不必要な資料の要求の自粛
発注者としての北海道開発局に何を望むか。			
地域のニーズにはどんなものがあると考えているか。また、それに建設業としてどのように応えることができると考えているか。	地域の社会資本(公共公益施設)の整備・維持・管理 冬期の除雪、災害時の対応 経済の活性化、雇用の確保(新卒者の雇用含む)		災害時の緊急活動 高齢者・障害者などに対する除雪・排雪などの支援を含めた「まちのなんでも屋」
その他	マスコミ等により上げられる「公共事業=悪」「落札率90%は談合」などの根拠のない偏見を払拭 甲乙間でのコミュニケーション		マスコミの偏見の払拭 24時間365日道路を管理している道路維持工事業者への評価が低すぎることは是正

## 2. 意見交換結果の概要 (室蘭)

室蘭			
	4月20日	5月15日	5月20日
北海道の建設業が、今後どうあるべきと考えているか。	会社数が多すぎるため、生き残るためには経営基盤を強化しつつ、合併など業界再編を進めていく必要がある。建設業を取り巻く環境は非常に激変している最中で、対応していくのが精一杯であり、様子見している状況	少子高齢化社会を迎える中で生産活動を行っていくためには、日本には新しい基盤整備が必要	時代のニーズに合わせた社会資本整備というものは必ずある。生き残るためには、現状の変化を把握し、その変化についていける企業でなければならない。
企業として、どんな企業を目指しているか。	地元出身者を採用し、雇用を守ること間接的に地域貢献するなど、地域密着型企業。 自力の範囲で仕事をし、雇用を守りつつ、公共事業による地域の社会基盤整備に必要とされる企業。 建設業が地域と共存していくうえで、組織として地域の声(要望)を拾い上げながら、発注者に提案できる企業。 地域に信頼(必要)とされる会社でなければならず、会社の経営資源を有効活用し人材を育て、「顔の見える、信頼性のある企業」。	地域での会社の責任として雇用の確保がある。	地域で一番になることが生き残るために必要。 地域で災害が起きた場合には地元キチンとした業者がいなければならない。やるのは地元業者である。 ダーウインの進化論のように環境に順応した企業が残る。今の時代に対応するため 日々努力している。
企業の存続・業容拡大に向けて、今後何をしたいと考えているのか(仮に、本業に専心したいということであれば、その中でどうしたいのか。)	異業種への進出は成功例が少ない(プロガのぎを削っており、ノウハウがないので成功しない)が、時代が激変しているところなので、すま産業あるいは新しい産業への進出の可能性について常に情報を集めている。	地元の中小企業は、直接の作業員を雇用している、機械を持っているということが特徴、災害時に対応できる体制にあるのがありがたい。	
建設業の維持・発展のため、行政全体に望むことはあるか。	全国の中で北海道の位置付け・役割(北海道における開発のコンセプト)を明確にし、それを建設業と結びつけること(インフラの構築)を考えるべきではないか。 医療面(救急時等)からも高速道路網整備は必要だし、国道の維持除雪も引き続き国が行うべきである。 「B/C」や「無駄な道路」のようなマスコミに対する広報活動、行き過ぎた価格競争を排除するため、低落札率(85%等)が適正ではないことをマスコミ等に発信してほしい。 地域において防災等さまざまな面を担ってきた経緯から、建設業の地域への貢献が評価される仕組みを整えてほしい。 開発局と建設業、地域の距離が近くなるべきであり、小さなニーズでも拾い上げて対応すると地域との距離が小さくなる。	新規業態に移行しやすくなるような弾力的な施策があれば、業態を転換させる人も増えてくるのではないか。	景気悪化、低落札率の現状から、毎年労務費が下がっている。このことを踏まえ、適正な賃金となるべく労務費調査を見直してほしい。 B/Cにしても都市の理論であり、数字だけでは計れないものもある。マスコミにはそこところが出ない。
発注者としての北海道開発局に何を望むか。		仕事量の減少に伴い、企業及び技術者の実績が足りなく参加できなくなることから、入札条件の緩和を望む。	
地域のニーズにはどんなものがあると考えているか。また、それに建設業としてどのように応えることができると考えているか。	協会に、地域住民から不要になった家の取り壊しや補修等の相談や依頼が多くなってきており、それに応えている。 協会として管内市町へ除雪の半ボランティアを約束し、高齢者からは多くの依頼が来た。結果としてリフォーム受注もあり、本業への広がりも若干あった。	鹿児島島の小集落での地域づくりにまじめで熱心な取組を聞いて、こちらでも地域住民による地域づくりを広げたい。	
その他	北海道ならではの施策、例えば食糧基地化などの施策を進めてほしい。	地球温暖化対策など、安全を守る社会資本整備が必要と考える。 救急医療問題などの面から、時間短縮など時代のニーズに合わせた社会資本整備というものが必ずあると思う。	有能な技術者は技術の継承の面から定年後も残ってもらっているが、これ以上状況が悪化するとリストラを行わざるを得なくなる。

## 2. 意見交換結果の概要(帯広)

	帯広		
	4月21日	4月27日	4月28日
北海道の建設業が、今後どうあるべきと考えているか。	建設業は、住民のニーズと官民一体の計画に沿い、インフラ整備に寄与 発注者、地域、建設業者とが共通認識の下、共に地域づくりを行うソフト面での活動も不可欠	商農工連携を通じて「農」を手伝い、北海道開発の原点である国の課題に応える 北海道の資源・特性を活かすことで高齢者・療養者、長期滞在型観光客などを全国から集めるため、基盤整備	淘汰は避けられず、健全な業者が生き延びることができる仕組みづくり 行政に頼るばかりではなく、経営力や技術力の向上に努めるとともに、地元企業間の連携も強化
企業として、どんな企業を目指しているか。	リサイクルや省エネといった環境関連などの分野に携わる 複数の金融機関を集め保証金を担保するファイナンス機能を持ち合わせた総合建設エンジニアリングを目指している	地域に愛されない企業は企業ではないとの思いから、地域に密着し、地域を守り、信頼される企業	地域における雇用の確保、安全・安心を守るなど、地域に根ざした地域貢献を通じて、信頼され必要とされる企業
企業の存続・業容拡大に向けて、今後何をしたいと考えているのか(仮に、本業に専心したいということであれば、その中でどうしたいのか。)	本業に専心するため、技術の更なる向上へ向けた人材の育成 本業に専心しつつも、社会情勢を見極めながら、他業種への参入を検討することが必要	健全経営の後、状況で本業を助ける枝葉 維持管理が主になるので、コンクリート構造物の延命化・長寿命化などの調査・設計・施工へ。技術習得や同業異種(コンクリート構造物維持補修)分野への進出	本業での各種改善を行いスキルを高めるとともに、他分野における調査研究 農業などの他業種への参入はリスク大だが、今後は施設の維持補修が重要で、同業他種であるコンクリート補修の情報収集
建設業の維持・発展のため、行政全体に望むことはあるか。	土木・環境の分野におけるPFI事業	ダンピング抑制対策の徹底、総合評価方式における地域貢献加点 地元業者で施工可能な工事は、地元優先の受注条件	公共工事は、価格競争させること自体無理 工事金額の一定額分を地元から調達することを義務化
発注者としての北海道開発局に何を望むか。	ダンピング合戦になっている入札制度を見直し 早期発注早期施工が行えるようなシステム	過度な競争や片寄りの回避 B/Cのみに囚われることなく、真に必要なインフラ整備 北海道の行方を示す国なり道なりの明確な方針	帯広開発建設部の河川工事で生じた堤外掘削土を農地への転用のような複合的な効果がある工事を創出すべき 調査基準価格の引き上げを行わない限り会社の存続が危ぶまれる
地域のニーズにはどんなものがあると考えているか。また、それに建設業としてどのように応えることができると考えているか。		自動車高速交通ネットワークの形成	異常気象が頻発しており、地域は過疎化と高齢化により限界集落が増えつつある近年、ライフラインとしての道路網の維持管理や災害時での緊急対応は必要不可欠
その他	イメージアップのため、現場や施設を地元の人々に見せ、目的・効果を説明が必要 「コンプライアンス強化計画の取組」が、余りに頑なな方針であるとの印象。事業の円滑な遂行のため、気軽にコミュニケーションを	十勝はバイオマス資源の宝庫であるため、公共工事にもその利用促進企業に対して、入札時の総合評価において加点	公共事業における経営事項審査を、格付けのみならず、総合評価制度などにも活用すべき 森林とダムとの明るい将来展望を分かりやすく説明すべき

## 2. 地域(市町村)へのアンケート調査の 概要について



# アンケートの概要・結果について

## 【アンケート調査の概要】

調査対象：開発建設部所管管内の3市町村  
 対象数：30市町村  
 調査期間：平成21年5月1日～5月29日

## 【主な特徴】建設業の事業に対して、災害対応や除雪に対する評価・期待が高い

- 問1) 「災害時の防災・復旧活動(24/30)」「除雪(25/30)」  
 問2) 「災害時の防災・復旧活動(26/30)」「除雪(24/30)」

	札幌	函館	小樽	旭川	室蘭	釧路	帯広	網走	留萌	稚内	回答数	
<b>1. これまでの地元建設業者の地域での事業(ビジネス)活動の中で評価するものはどれか(複数回答可)。</b>												
ア. 地域の重要な公共施設・設備の建設												23
イ. 道路・河川等の公物の適切な管理												14
ウ. 災害時の防災・復旧活動												24
エ. 除雪												25
オ. その他												1
<b>2. 今後、建設業者が本業(ビジネス)として行う活動が、地域づくりの観点から地域にどう貢献することを期待するか(複数回答可)。</b>												
ア. 地域の重要な公共施設・設備の建設												18
イ. 道路・河川等の公物の適切な管理												21
ウ. 災害時の防災・復旧活動												26
エ. 除雪												24
オ. 公共施設の建設計画の提言(PFIの活用等も含めて)												11
カ. 計画・建設から維持までを一体的に行う総合的建設サービス業としてのサービス提供												10
キ. その他												1
ク. 特になし												0
<b>3. これまでの地元建設業者の地域での防災面での活動の中には、ボランティア的な予防活動が行われている面があると考えられるが、それをどう評価するか。</b>												
ア. 高く評価する												12
イ. 評価する												13
ウ. (基本的には全て契約に基づく活動と理解している等の理由により) 災害時にそのような活動がなされているとは認識していない												2
エ. 近年、災害のおそれが発生していない等により評価のしようがない												3
<b>4. 事業活動そのものではない企業の活動としての、地元建設業者の活動としては、どのようなものが認められるか(複数回答可)。</b>												
ア. 地域のお祭りのイベントでの協力(幹事・協賛金等)												25
イ. 商工会等を通じた地域経済界での活動の展開												17
ウ. 挨拶運動や清掃活動などのボランティア活動の展開												21
エ. 地域との協働作業における建設業のノウハウを活かした役割の遂行 (たとえば、住民総出での駅前花壇づくりにおける整地作業の担当)												17
オ. その他( )												6



**【主な特徴】建設業と地域との意見交換については、あまり行われていなかったという地域が多い**

→ 問8) 「適度に行われてきた(12/30)」「あまり行われてこなかった(13/30)」

	札幌	函館	小樽	旭川	室蘭	釧路	帯広	網走	留萌	稚内	回答数	
<b>5. これまでの地元建設業者の4.の企業活動を総合的にどう評価するか。</b>												
ア. 高く評価する												24
イ. どちらでもない(高くも低くも評価しない)												5
ウ. 地域への貢献を期待しているが、これまでのところ期待に応えていない												1
エ. 建設業で頑張るべきで、そのような課外活動的なものの評価は考えたことがない												0
オ. その他( )												0
<b>6. 今後、事業活動そのものではない企業の活動として、期待する活動は何か。</b>												
ア. 地域のイベントでの協力(幹事・協賛金等)												23
イ. 商工会等を通じた地域経済界での活動の展開												17
ウ. 挨拶運動や清掃活動などのボランティア活動の展開												19
エ. 地域との協働作業における建設業のノウハウを活かした役割の遂行(たとえば、住民総出での駅前花壇づくりにおける整地作業の担当)												21
オ. その他( )												3
カ. 特になし(建設業をしっかりやればよい)												0
<b>7. 今後、地元社会への影響力がある企業としての建設業に期待することは何か(複数回答可)。</b>												
ア. 積極的事業展開を通じた地元経済の活性化(経済波及効果等)												27
イ. 積極的事業展開を通じた雇用の場の確保												27
ウ. 休暇拡大等労働条件改善やワークシェア等の地元での模範												4
エ. その他( )												1
<b>8. これまで、建設業と地域(役所、商工会、地域住民)との間の地域の発展に向けての意見交換はどの程度行われてきたか。</b>												
ア. 大変活発に行われてきた												0
イ. 適度に行われてきた												12
ウ. あまり行われてこなかった												13
エ. 殆ど行われてこなかった												5
オ. その他( )												0
<b>9. 建設業の技術・資産を活用した地域づくりへの貢献として期待する、今後の建設業が参加できる、あるいは、参加すべき活動は何か(ビジネスとして、地域との協働活動として)。</b>												
ア. まちづくり(空洞化した中心市街地における新たな建物の建設等)												14
イ. 公共交通(新システムの公共交通事業への進出(大型免許所持者の活用)等)												3
ウ. 農業(コントラクター等)												17
エ. 公園・森林づくり(CO2削減活動としての植林等)												8
オ. 新産業の受け皿(BDF等新エネルギーの生産やそのエネルギーを使った機械の開発等)												9
カ. その他												3
キ. 特になし												1

### 3. 建設業者へのアンケート調査 の概要について

## 1. アンケートの概要について

### 【アンケート調査の概要】

調査対象：平成20年度に北海道開発局からの工事受注実績を有する一般土木の建設会社

対象数：651社

調査期間：平成21年6月22日～7月3日

回収状況：415社（回収率63.7%）

### 【アンケート結果の分析について】

#### 分析項目

- ・ 経常損益 「黒字」、「トントン」、「赤字」
- ・ 資格 「A」、「B」、「C」、「D」
- ・ 地域 「札幌」「小樽」「函館」「旭川」「室蘭」「帯広」「釧路」「網走」「留萌」「稚内」
- ・ 従業員数 「～10人」、「～100人」、「～300人」、「～1000人」
- ・ 資本金 「～1000万円」、「～1億円」、「～3億円」「～10億円」、「10億円～」
- ・ 企業分類 「道内大手」、「本州大手」、「その他」

## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

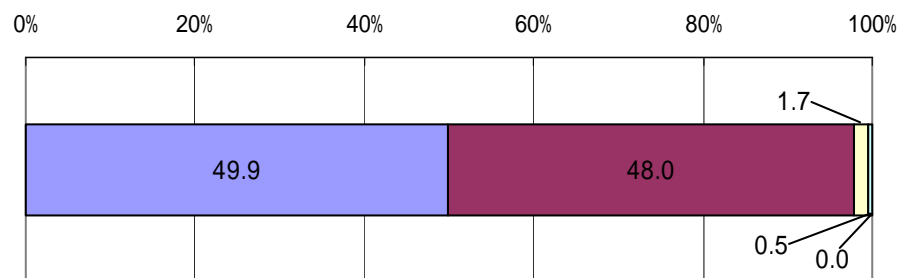
問1) 建設業が地域に貢献することの必要性について、貴社のお考えに最も近いものに1つだけ印をつけてください。

### 【全体の傾向】建設業が地域貢献の必要性を強く認識

→ 「他業種に比べて特に必要(49.9%)」「他業種と同じように必要(48.0%)」

### 【属性の傾向】従業員数別で傾向あり

→ 10人以下で「他業種と同じように必要(55.6%)」の割合が高い



- 1. 他業種に比べて特に必要
- 2. 他業種と同じように必要
- 3. あまり必要ない
- 4. 必要ない
- 5. わからない(そのような必要性を考えたことがない)

建設業が地域に貢献することの必要性  
(単数回答 N=415)

### 従業員数別の傾向

建設業が地域に貢献することの必要性(単数回答)	10人以下		~100人		~300人		~1,000人		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 他業種に比べて特に必要	21	38.9	174	51.2	9	50.0	3	100.0	207	49.9
2. 他業種と同じように必要	30	55.6	160	47.1	9	50.0	0	0.0	199	48.0
3. あまり必要ない	1	1.9	6	1.8	0	0.0	0	0.0	7	1.7
4. 必要ない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5
5. わからない	2	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
総計	54	100	340	100	18	100	3	100	415	100

## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

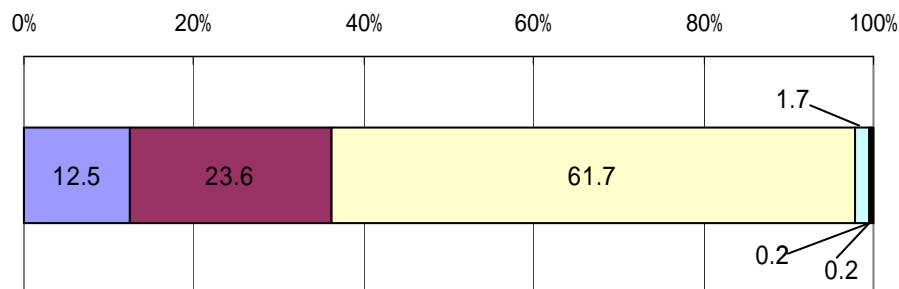
問2) 建設業が本業以外の部分で地域に貢献することの必要性について、貴社のお考えに最も近いものに1つだけ印をつけてください。

### 【全体の傾向】本業以外でも建設業の地域貢献の必要性を強く認識

→ 「経営に支障が無い範囲で必要(61.7%)」「経営に余裕がなくてもある程度は必要(23.6%)」

### 【属性の傾向】地域別で傾向あり

→ 小樽で「経営に余裕がなくてもある程度は必要(52.9%)」の割合が高い



- 1. 利益を活用するなど積極的な貢献が必要
- 2. 経営に余裕がなくてもある程度は必要
- 3. 経営に支障の無い範囲で必要
- 4. 本業以外では必要ない
- 5. わからない(そのような必要性を考えたことがない)
- 無回答

本業以外の部分で地域に貢献することの必要性  
(単数回答 N=415)

### 地域別の傾向

本業以外の部分で地域に貢献することの必要性	札幌		函館		小樽		旭川		室蘭	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 利益を活用するなど積極的な貢献が必要	13	11.8	5	12.5	1	5.9	5	9.1	4	13.8
2. 経営に余裕がなくてもある程度は必要	32	29.1	8	20.0	9	52.9	8	14.5	8	27.6
3. 経営に支障の無い範囲で必要	62	56.4	25	62.5	7	41.2	41	74.5	17	58.6
4. 本業以外では必要ない	2	1.8	2	5.0	-	-	1	1.8	-	-
5. わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	110	100.0	40	100.0	17	100.0	55	100.0	29	100.0

本業以外の部分で地域に貢献することの必要性	釧路		帯広		網走		留萌		稚内	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 利益を活用するなど積極的な貢献が必要	5	19.2	11	21.2	5	10.6	-	-	3	15.0
2. 経営に余裕がなくてもある程度は必要	3	11.5	11	21.2	9	19.1	3	15.8	7	35.0
3. 経営に支障の無い範囲で必要	18	69.2	30	57.7	30	63.8	16	84.2	10	50.0
4. 本業以外では必要ない	-	-	-	-	2	4.3	-	-	-	-
5. わからない	-	-	-	-	1	2.1	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	26	100.0	52	100.0	47	100.0	19	100.0	20	100.0

## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

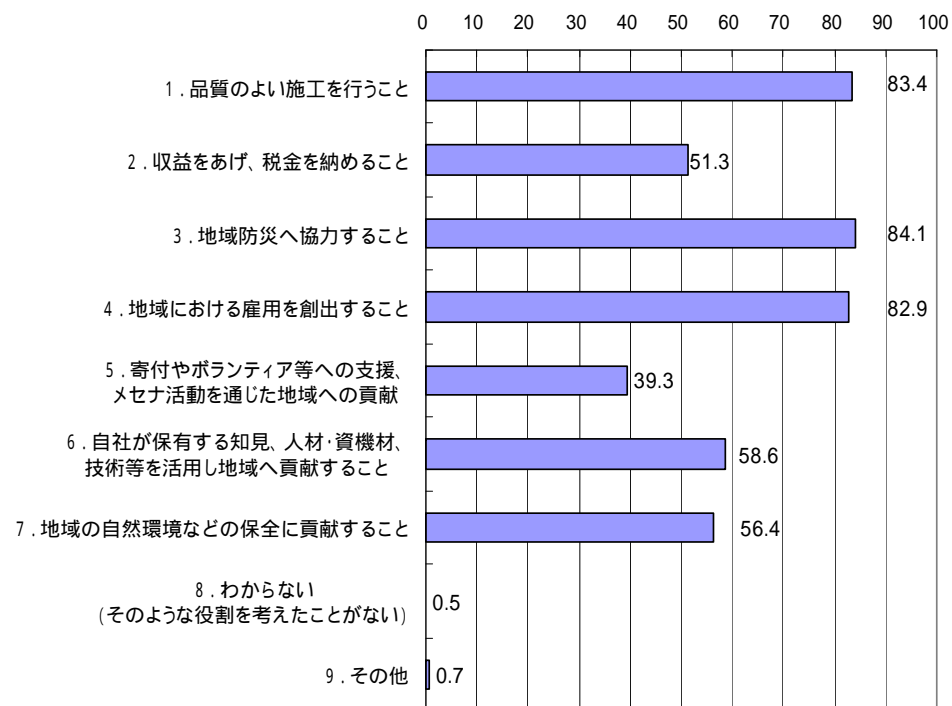
問3) 建設業が地域から期待されている役割について、貴社が重要であるとお考えのものにいくつでも 印をつけてください。

### 【全体の傾向】地域防災、良質な施工、雇用創出を強く認識

- 「地域防災へ協力すること(84.1%)」「品質の良い施工を行うこと(83.4%)」
- 「地域における雇用を創出すること(82.9%)」

### 【属性の傾向】地域別で傾向あり

- 釧路で「収益をあげ税金を納めること(92.3%)」、稚内で「地域の自然環境の保全に貢献すること(80.0%)」の割合が高い



建設業が地域から期待されている役割  
(複数回答 N=415)

### 地域別の傾向

建設業が地域から期待されている役割	札幌		函館		小樽		旭川		室蘭	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 品質のよい施工を行うこと	94	85.5	31	77.5	14	82.4	47	85.5	26	89.7
2. 収益をあげ、税金を納めること	55	50.0	17	42.5	7	41.2	25	45.5	22	75.9
3. 地域防災へ協力すること	91	82.7	32	80.0	14	82.4	45	81.8	27	93.1
4. 地域における雇用を創出すること	87	79.1	32	80.0	15	88.2	50	90.9	25	86.2
5. 寄付やボランティア等への支援、メセナ活動を通じた地域への貢献	40	36.4	16	40.0	8	47.1	21	38.2	11	37.9
6. 自社が保有する知見、人材・資機材、技術等を活用し地域へ貢献すること	64	58.2	19	47.5	8	47.1	30	54.5	19	65.5
7. 地域の自然環境などの保全に貢献すること	63	57.3	19	47.5	10	58.8	23	41.8	16	55.2
8. わからない	1	0.9	1	2.5	-	-	-	-	-	-
9. その他	2	1.8	1	2.5	-	-	-	-	-	-

建設業が地域から期待されている役割	釧路		帯広		網走		留萌		稚内	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 品質のよい施工を行うこと	20	76.9	43	82.7	36	76.6	18	94.7	17	85.0
2. 収益をあげ、税金を納めること	24	92.3	28	53.8	27	57.4	6	31.6	11	55.0
3. 地域防災へ協力すること	22	84.6	40	76.9	40	85.1	18	94.7	20	100.0
4. 地域における雇用を創出すること	20	76.9	41	78.8	40	85.1	16	84.2	18	90.0
5. 寄付やボランティア等への支援、メセナ活動を通じた地域への貢献	11	42.3	27	51.9	18	38.3	4	21.1	7	35.0
6. 自社が保有する知見、人材・資機材、技術等を活用し地域へ貢献すること	18	69.2	31	59.6	29	61.7	10	52.6	15	75.0
7. 地域の自然環境などの保全に貢献すること	14	53.8	26	50.0	32	68.1	15	78.9	16	80.0
8. わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9. その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

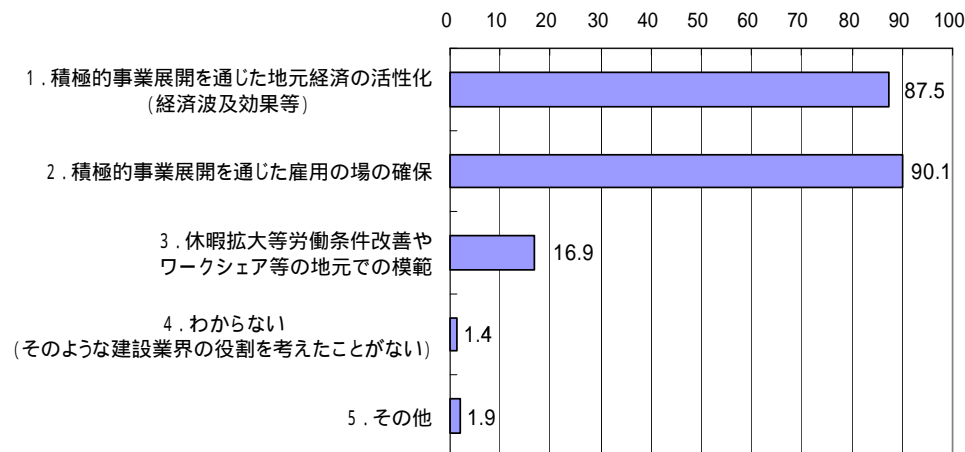
## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

問4) 地域への影響力がある業界としての建設業界が期待されていることについて、貴社のお考えとして該当するものにいくつでも 印をつけてください。

### 【全体の傾向】地域経済の牽引役として役割を強く認識

- 「積極的事业展開を通じた雇用の場の確保 (90.1%)」
- 「積極的事业展開を通じた地元経済の活性化 (87.5%)」

### 【属性の傾向】特段の傾向なし



### 経常損益別の傾向

建設業界への期待 (複数回答)	黒字		収支均衡 (トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 積極的事业展開を通じた地元経済の活性化 (経済波及効果等)	124	87.9	105	88.2	133	86.4	1	100.0	363	87.5
2. 積極的事业展開を通じた雇用の場の確保	125	88.7	109	91.6	139	90.3	1	100.0	374	90.1
3. 休暇拡大等労働条件改善やワークシェア等の地元での模範	31	22.0	14	11.8	25	16.2	0	0.0	70	16.9
4. わからない (そのような建設業界の役割を考えたことがない)	3	2.1	0	0.0	3	1.9	0	0.0	6	1.4
5. その他	3	2.1	0	0.0	5	3.2	0	0.0	8	1.9

地域への影響力がある業界としての建設業界への期待  
(複数回答 N=415)

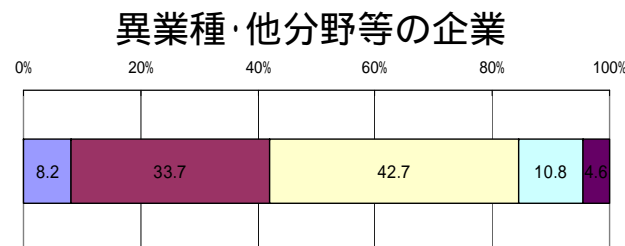
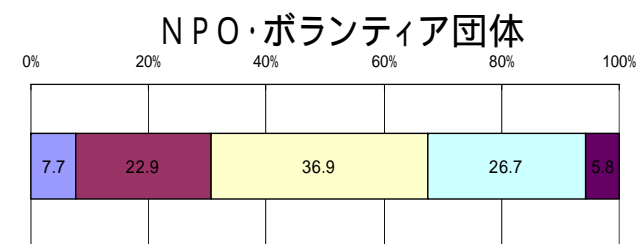
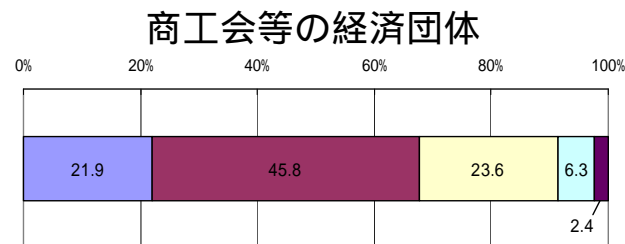
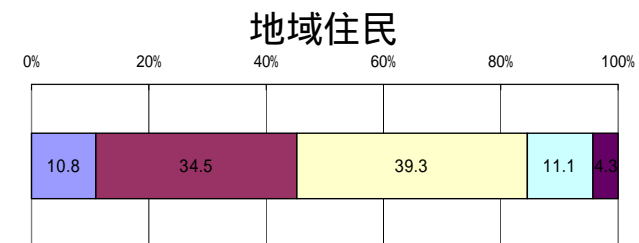
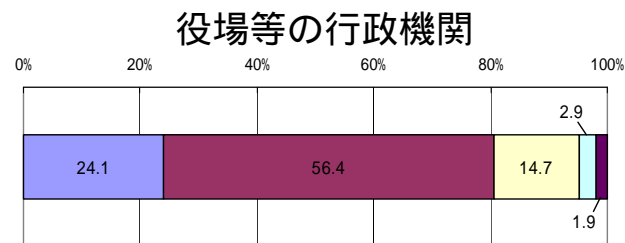


## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

問5) 地域の関係者との連携状況について、貴社の下記に示す地域の関係者との意見交換のこれまでの実施状況としてそれぞれ該当するものに1つだけ 印をつけてください。

### 【全体の傾向】役場や商工会等との意見交換は活発、NPO等とは低調

- 「活発に行われてきた（行政24.1%、商工会等21.9%）」
- 「適度に行われてきた（行政56.4%、商工会等45.8%）」
- NPO等とは「まったく行われてこなかった（26.7%）」



■ 活発に行われてきた   
 ■ 適度に行われてきた   
 ■ あまり行われてこなかった  
■ 全く行われてこなかった   
 ■ 無回答

地域の関係者との意見交換(単数回答 N=415)

## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

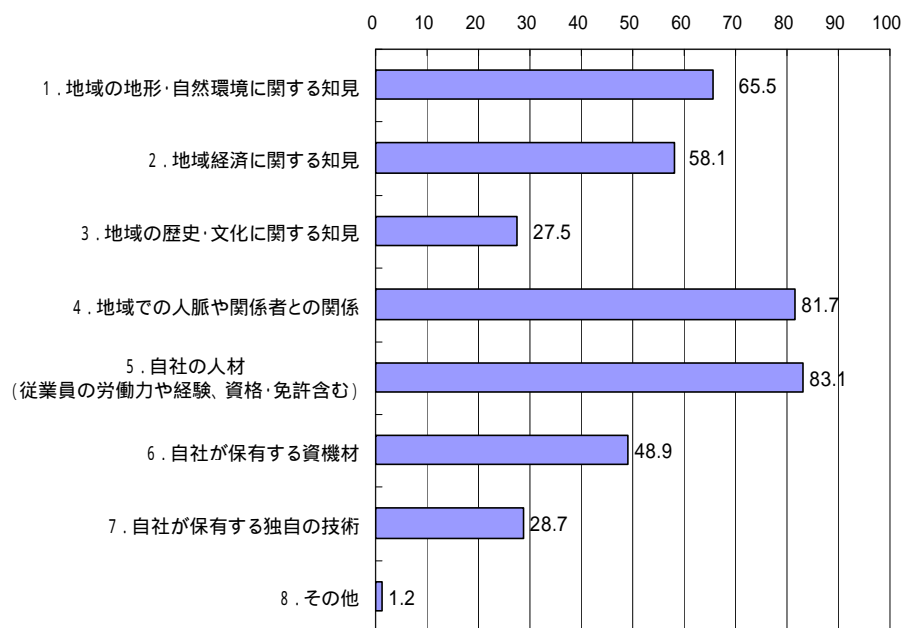
問6) 地域における企業活動を通して獲得した技術やノウハウについて、貴社が保有しているとお考えのものにいくつでも 印をつけてください。

### 【全体の傾向】人材面の強みを強く認識

→ 「自社の人材 (83.1%)」「地域での人脈や関係者との関係 (81.7%)」

### 【属性の傾向】企業規模で傾向あり

→ 従業員数100~300人、資本金1億円超以上で、「地域の地形・自然環境に関する知見」の割合が高い



企業活動を通して獲得した技術やノウハウ  
(複数回答 N=415)

### 従業員別の傾向

企業活動を通して獲得した技術やノウハウ (複数回答)	10人以下		~100人		~300人		~1,000人		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 地域の地形・自然環境に関する知見	27	50.0	227	66.8	15	83.3	3	100.0	272	65.5
2. 地域経済に関する知見	26	48.1	199	58.5	13	72.2	3	100.0	241	58.1
3. 地域の歴史・文化に関する知見	10	18.5	93	27.4	8	44.4	3	100.0	114	27.5
4. 地域での人脈や関係者との関係	41	75.9	279	82.1	16	88.9	3	100.0	339	81.7
5. 自社の人材 (従業員の労働力や経験、資格・免許含む)	42	77.8	284	83.5	16	88.9	3	100.0	345	83.1
6. 自社が保有する資機材	21	38.9	172	50.6	8	44.4	2	66.7	203	48.9
7. 自社が保有する独自の技術	11	20.4	94	27.6	11	61.1	3	100.0	119	28.7
8. その他	0	0.0	5	1.5	0	0.0	0	0.0	5	1.2

### 資本金別の傾向

企業活動を通して獲得した技術やノウハウ (複数回答)	1千万円以下		~1億円		~3億円		~10億円		10億円~		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 地域の地形・自然環境に関する知見	7	58.3	244	64.9	6	85.7	4	57.1	11	84.6	272	65.5
2. 地域経済に関する知見	6	50.0	219	58.2	5	71.4	4	57.1	7	53.8	241	58.1
3. 地域の歴史・文化に関する知見	3	25.0	102	27.1	2	28.6	4	57.1	3	23.1	114	27.5
4. 地域での人脈や関係者との関係	11	91.7	305	81.1	7	100.0	5	71.4	11	84.6	339	81.7
5. 自社の人材 (従業員の労働力や経験、資格・免許含む)	10	83.3	314	83.5	7	100.0	5	71.4	9	69.2	345	83.1
6. 自社が保有する資機材	5	41.7	191	50.8	3	42.9	2	28.6	2	15.4	203	48.9
7. 自社が保有する独自の技術	4	33.3	101	26.9	3	42.9	3	42.9	8	61.5	119	28.7
8. その他	0	0.0	5	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	1.2

## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

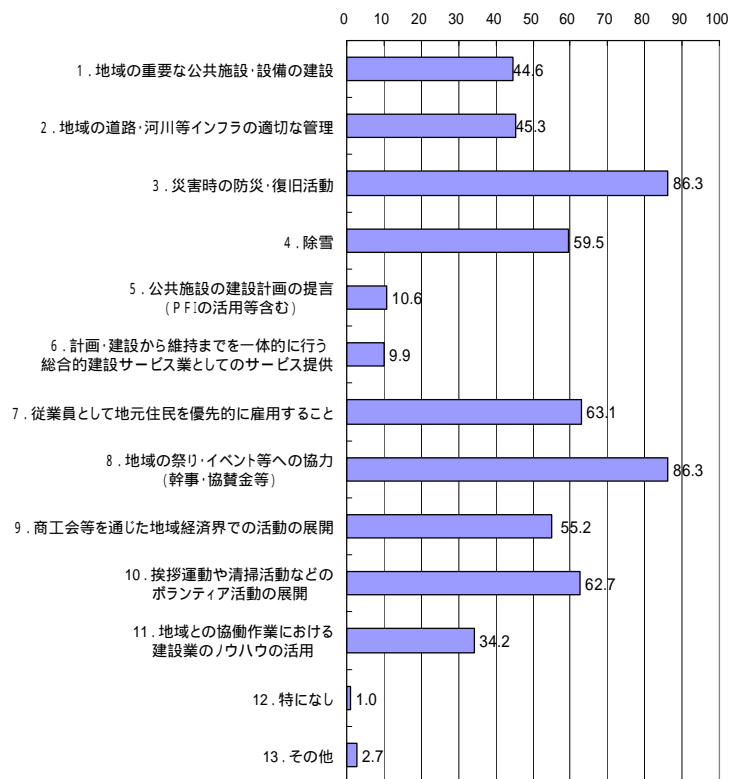
問7) 地域に対する様々な貢献について、貴社が現在取り組んでいるものに該当するものいくつかも印をつけてください。(問8略「問7で最も重要とされた取組について、その具体的内容を記述」)

### 【全体の傾向】地域防災、地域イベント等への協力を積極的に取組

→ 「災害時の防災・復旧活動(86.3%)」「地域の祭り・イベント等への協力(86.3%)」

### 【属性の傾向】従業員数別で傾向あり

→ 規模が大きくなるほど「災害時の防災・復旧活動」「地域の祭り・イベント等への協力」の割合が高い



地域に対する様々な貢献(複数回答 N=415)

### 従業員別の傾向

地域に対する様々な貢献(複数回答)	10人以下		~100人		~300人		~1,000人		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 地域の重要な公共施設・設備の建設	16	29.6	152	44.7	14	77.8	3	100.0	185	44.6
2. 地域の道路・河川等インフラの適切な管理	15	27.8	163	47.9	9	50.0	1	33.3	188	45.3
3. 災害時の防災・復旧活動	43	79.6	296	87.1	16	88.9	3	100.0	358	86.3
4. 除雪	27	50.0	207	60.9	12	66.7	1	33.3	247	59.5
5. 公共施設の建設計画の提言(PFIの活用等含む)	2	3.7	32	9.4	7	38.9	3	100.0	44	10.6
6. 計画・建設から維持までを一体的に行う総合的建設サービス業としてのサービス提供	3	5.6	29	8.5	7	38.9	2	66.7	41	9.9
7. 従業員として地元住民を優先的に雇用すること	28	51.9	222	65.3	10	55.6	2	66.7	262	63.1
8. 地域の祭り・イベント等への協力(幹事・協賛金等)	39	72.2	299	87.9	17	94.4	3	100.0	358	86.3
9. 商工会等を通じた地域経済界での活動の展開	22	40.7	194	57.1	12	66.7	1	33.3	229	55.2
10. 挨拶運動や清掃活動などのボランティア活動の展開	19	35.2	226	66.5	12	66.7	3	100.0	260	62.7
11. 地域との協働作業における建設業のノウハウの活用(例えば住民総出での駅前花壇づくりにおける整地作業の担当など)	15	27.8	124	36.5	3	16.7	0	0.0	142	34.2
12. 特になし	2	3.7	2	0.6	0	0.0	0	0.0	4	1.0
13. その他	1	1.9	9	2.6	1	5.6	0	0.0	11	2.7

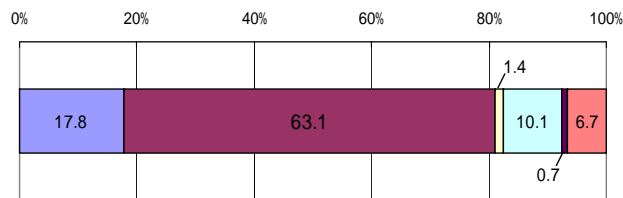
## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

問9) 問7の選択肢「8」～「11」の取組は、本業以外の部分での取組と考えられますが、貴社はどのように自己評価していますか、また、地域からはどう評価されているとお考えですか、それぞれの評価について、該当する回答欄に各々1つだけ印をつけてください。

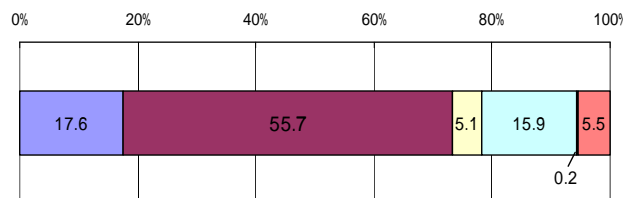
### 【全体の傾向】本業以外での地域貢献を評価

→ 自己評価、地域からの評価とも、「高く評価」「ある程度評価」の両方で概ね8割

### 【属性の傾向】特段の傾向なし



本業以外の部分での地域貢献に関する自己評価  
(単数回答 N=415)



本業以外の部分での地域貢献に関する地域からの評価  
(単数回答 N=415)

- 1. 高く評価
- 2. ある程度評価
- 3. 評価されていない
- 4. わからない(そのような評価を考えたことがない)
- 5. その他
- 無回答

### 経常損益別の傾向

本業以外の部分での地域貢献に関する自己評価	黒字		収支均衡(トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 高く評価	25	17.7	19	16.0	30	19.5		0.0	74	17.8
2. ある程度評価	88	62.4	81	68.1	92	59.7	1	100.0	262	63.1
3. 評価されていない	4	2.8	1	0.8	1	0.6		0.0	6	1.4
4. わからない	16	11.3	9	7.6	17	11.0		0.0	42	10.1
5. その他	1	0.7	0	0.0	2	1.3		0.0	3	0.7
無回答	7	5.0	9	7.6	12	7.8	0	0.0	28	6.7
総計	141	100.0	119	100.0	154	100.0	1	100.0	415	100.0

本業以外の部分での地域貢献に関する地域からの評価	黒字		収支均衡(トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 高く評価	25	17.7	21	17.6	27	17.5		0.0	73	17.6
2. ある程度評価	83	58.9	71	59.7	76	49.4	1	100.0	231	55.7
3. 評価されていない	6	4.3	4	3.4	11	7.1		0.0	21	5.1
4. わからない	21	14.9	15	12.6	30	19.5		0.0	66	15.9
5. その他		0.0		0.0	1	0.6		0.0	1	0.2
無回答	6	4.3	8	6.7	9	5.8		0.0	23	5.5
総計	141	100.0	119	100.0	154	100.0	1	100.0	415	100.0

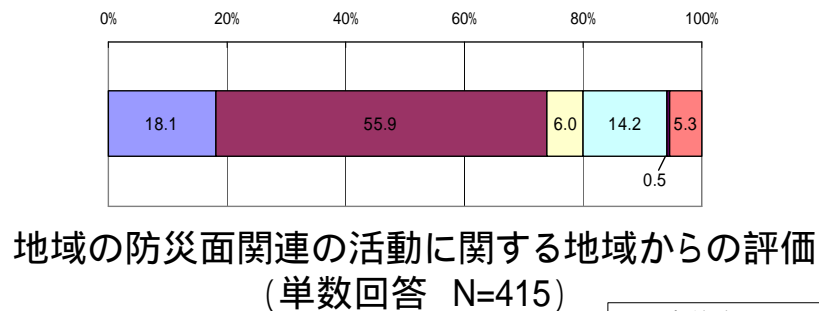
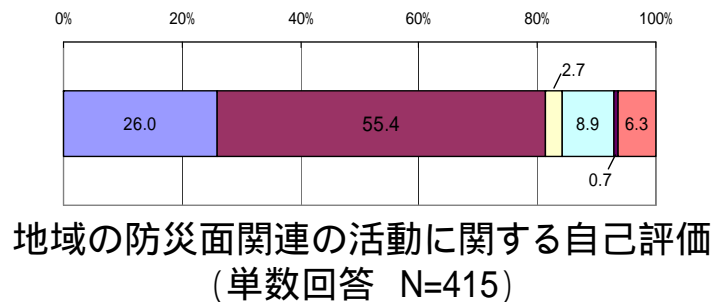
## 2. 地域への貢献に関するご認識・お取り組みについて

問10) 地域の防災面に関連する取組には半ば自発的な活動が行われている面があると考えられます。貴社は、このような活動をどのように 自己評価しますか、また、 地域からはどう評価されているとお考えですか、それぞれの評価について、該当する回答欄に各々1つだけ 印をつけてください。

### 【全体の傾向】地域防災への貢献を評価

→ 自己評価、地域からの評価とも、「高く評価」「ある程度評価」の両者で概ね8割

### 【属性の傾向】特段の傾向なし



- 1. 高く評価
- 2. ある程度評価
- 3. 評価されていない
- 4. わからない(そのような評価を考えたことがない)
- 5. その他
- 無回答

### 経常損益別の傾向

地域の防災面関連の活動に関する自己評価	黒字		収支均衡 (トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 高く評価	37	26.2	29	24.4	42	27.3		0.0	108	26.0
2. ある程度評価	76	53.9	71	59.7	82	53.2	1	100.0	230	55.4
3. 評価されていない	4	2.8	3	2.5	4	2.6		0.0	11	2.7
4. わからない	13	9.2	10	8.4	14	9.1		0.0	37	8.9
5. その他	2	1.4		0.0	1	0.6		0.0	3	0.7
無回答	9	6.4	6	5.0	11	7.1	0	0.0	26	6.3
総計	141	100.0	119	100.0	154	100.0	1	100.0	415	100.0

地域の防災面関連の活動に関する地域からの評価	黒字		収支均衡 (トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 高く評価	32	22.7	16	13.4	27	17.5		0.0	75	18.1
2. ある程度評価	78	55.3	69	58.0	84	54.5	1	100.0	232	55.9
3. 評価されていない	5	3.5	9	7.6	11	7.1		0.0	25	6.0
4. わからない	14	9.9	21	17.6	24	15.6		0.0	59	14.2
5. その他	1	0.7		0.0	1	0.6		0.0	2	0.5
無回答	11	7.8	4	3.4	7	4.5		0.0	22	5.3
総計	141	100.0	119	100.0	154	100.0	1	100.0	415	100.0

### 3. 社会への貢献に関するご認識・お取り組みについて

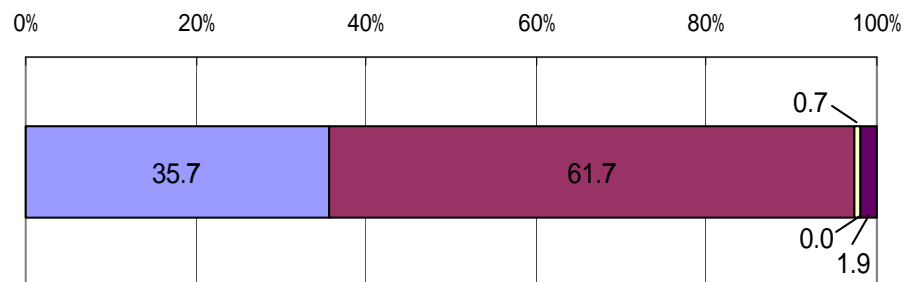
問11) 建設業が社会全般に貢献することの必要性について、貴社のお考えに最も近いものに1つだけ印をつけてください。

**【全体の傾向】** 建設業は社会貢献の必要性を認識しているが、その程度は地域貢献より低い

→ 「他業種と同じように必要 (61.7%)」「他業種に比べて特に必要 (35.7%)」

**【属性の傾向】** 資格別、企業分類別で傾向あり

→ 「他業種に比べて特に必要」の割合が資格別Aランク (59.4%)、本州大手 (61.5%) で最も高い



- 1. 他業種に比べて特に必要
- 2. 他業種と同じように必要
- 3. あまり必要ない
- 4. 必要ない
- 5. わからない(そのような必要性を考えたことがない)

建設業が社会全般に貢献することの必要性  
(単数回答 N=415)

#### 資格別の傾向

建設業が社会全般に貢献することの必要性	A		B		C		D		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 他業種に比べて特に必要	19	59.4	67	39.2	47	29.2	15	29.4	148	35.7
2. 他業種と同じように必要	13	40.6	100	58.5	111	68.9	32	62.7	256	61.7
3. あまり必要ない		0.0	2	1.2	1	0.6		0.0	3	0.7
4. 必要ない		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
5. わからない		0.0	2	1.2	2	1.2	4	7.8	8	1.9
総計	32	100.0	171	100.0	161	100.0	51	100.0	415	100.0

#### 企業分類別の傾向

建設業が社会全般に貢献することの必要性	道内大手		本州大手		その他		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 他業種に比べて特に必要	11	45.8	8	61.5	129	34.1	148	35.7
2. 他業種と同じように必要	13	54.2	5	38.5	238	63.0	256	61.7
3. あまり必要ない		0.0		0.0	3	0.8	3	0.7
4. 必要ない		0.0		0.0			0	0.0
5. わからない		0.0		0.0	8	2.1	8	1.9
総計	24	100.0	13	100.0	378	100.0	415	100.0

### 3. 社会への貢献に関するご認識・お取り組みについて

問12) 社会全般に対する様々な貢献について、貴社が現在取り組んでいるものに該当するものにいくつでも印をつけてください。

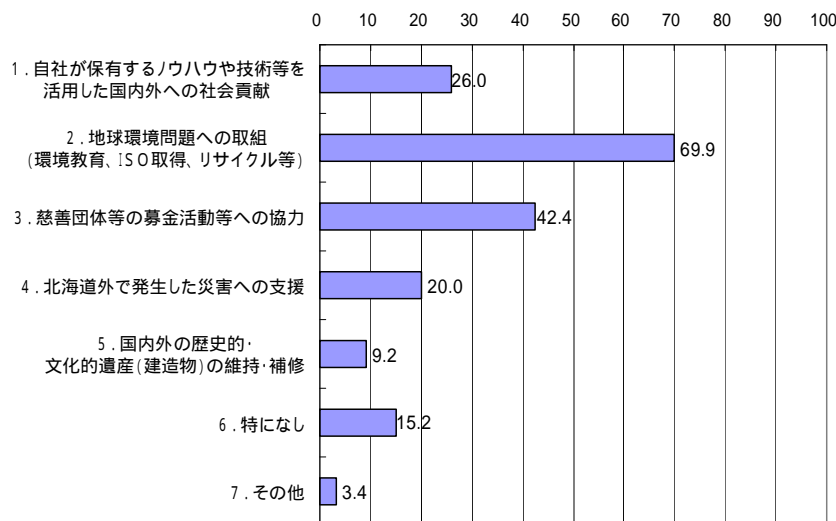
( 問13略「問12で最も重要とされた取組について、その具体的内容を記述」 )

#### 【全体の傾向】地球環境問題への取組が積極的

→ 「地球環境問題への取組 (69.9%)」

#### 【属性の傾向】資格別、従業員数別、資本金別で傾向あり

→ 「特になし」の割合が資格別Dランク (29.4%)、従業員数10人以下 (27.6%)、資本金1千万円以下 (33.3%) と小規模企業で高い



社会全般に対する様々な貢献 (複数回答 N=415)

#### 資格別の傾向

社会全般に対する様々な貢献 (複数回答)	A		B		C		D		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 自社が保有するノウハウや技術等を活用した国内外への社会貢献	20	62.5	45	26.3	36	22.4	7	13.7	108	26.0
2. 地球環境問題への取組 (環境教育、ISO取得、リサイクル等)	29	90.6	143	83.6	98	60.9	20	39.2	290	69.9
3. 慈善団体等の募金活動等への協力	18	56.3	86	50.3	59	36.6	13	25.5	176	42.4
4. 北海道外で発生した災害への支援	16	50.0	31	18.1	28	17.4	8	15.7	83	20.0
5. 国内外の歴史的・文化的遺産 (建造物) の維持・補修	6	18.8	19	11.1	11	6.8	2	3.9	38	9.2
6. 特になし		0.0	14	8.2	34	21.1	15	29.4	63	15.2
7. その他		0.0	5	2.9	7	4.3	2	3.9	14	3.4

#### 従業員別の傾向

社会全般に対する様々な貢献 (複数回答)	10人以下		~100人		~300人		~1,000人		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 自社が保有するノウハウや技術等を活用した国内外への社会貢献	8	14.8	89	26.2	8	44.4	3	100.0	108	26.0
2. 地球環境問題への取組 (環境教育、ISO取得、リサイクル等)	23	42.6	247	72.6	17	94.4	3	100.0	290	69.9
3. 慈善団体等の募金活動等への協力	19	35.2	144	42.4	10	55.6	3	100.0	176	42.4
4. 北海道外で発生した災害への支援	8	14.8	64	18.8	8	44.4	3	100.0	83	20.0
5. 国内外の歴史的・文化的遺産 (建造物) の維持・補修	3	5.6	31	9.1	2	11.1	2	66.7	38	9.2
6. 特になし	15	27.8	47	13.8	1	5.6	0	0.0	63	15.2
7. その他	5	9.3	9	2.6	0	0.0	0	0.0	14	3.4

#### 資本金別の傾向

社会全般に対する様々な貢献 (複数回答)	1千万円以下		~1億円		~3億円		~10億円		10億円~		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 自社が保有するノウハウや技術等を活用した国内外への社会貢献	3	25.0	88	23.4	3	42.9	5	71.4	9	69.2	108	26.0
2. 地球環境問題への取組 (環境教育、ISO取得、リサイクル等)	4	33.3	262	69.7	6	85.7	7	100.0	11	84.6	290	69.9
3. 慈善団体等の募金活動等への協力	6	50.0	157	41.8	5	71.4	3	42.9	5	38.5	176	42.4
4. 北海道外で発生した災害への支援	0	0.0	68	18.1	2	28.6	4	57.1	9	69.2	83	20.0
5. 国内外の歴史的・文化的遺産 (建造物) の維持・補修	0	0.0	31	8.2	1	14.3	1	14.3	5	38.5	38	9.2
6. 特になし	4	33.3	58	15.4	1	14.3	0	0.0	0	0.0	63	15.2
7. その他	1	8.3	13	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	3.4



## 4. 現在の課題・取組について

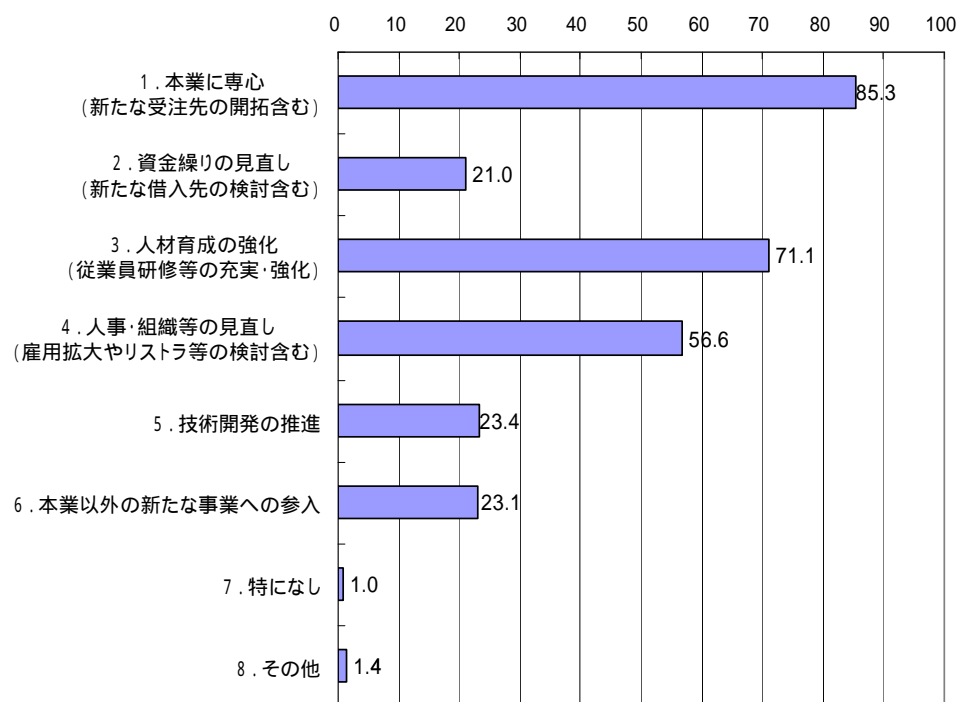
問15) 現在の経営状況を踏まえた貴社の経営の維持・改善に向けた現在の取組について、該当するものについてくつでも 印をつけてください。( 問14略「経営状況について」)  
 ( 問16略「問15で最も重要とされた取組についてその具体的内容を記述」)

### 【全体の傾向】本業に専心するとともに人材育成を強化

→ 「本業に専心(85.3%)」「人材育成の強化(71.1%)」

### 【属性の傾向】経常損益別、従業員数別で傾向あり

→ 赤字企業で「人事・組織等の見直し(64.9%)」の割合が高く、従業員数別で規模が大きくなるほど「資金繰りの見直し」を除く各取組の割合が高くなる



経営の維持・改善に向けた現在の取組  
(複数回答 N=415)

### 経常損益別の傾向

経営の維持・改善に向けた現在の取組 (複数回答)	黒字		収支均衡 (トントン)		赤字		無回答		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 本業に専心 (新たな受注先の開拓含む)	123	87.2	102	85.7	128	83.1	1	100.0	354	85.3
2. 資金繰りの見直し (新たな借入先の検討含む)	23	16.3	26	21.8	38	24.7		0.0	87	21.0
3. 人材育成の強化 (従業員研修等の充実・強化)	111	78.7	87	73.1	96	62.3	1	100.0	295	71.1
4. 人事・組織等の見直し (雇用拡大やリストラ等の検討含む)	64	45.4	71	59.7	100	64.9		0.0	235	56.6
5. 技術開発の推進	50	35.5	20	16.8	26	16.9	1	100.0	97	23.4
6. 本業以外の新たな事業への参入	34	24.1	30	25.2	32	20.8		0.0	96	23.1
7. 特になし	1	0.7	2	1.7	1	0.6		0.0	4	1.0
8. その他	1	0.7	1	0.8	4	2.6		0.0	6	1.4

### 従業員別の傾向

経営の維持・改善に向けた現在の取組 (複数回答)	10人以下		~100人		~300人		~1,000人		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. 本業に専心 (新たな受注先の開拓含む)	45	83.3	289	85.0	17	94.4	3	100.0	354	85.3
2. 資金繰りの見直し (新たな借入先の検討含む)	17	31.5	66	19.4	2	11.1	2	66.7	87	21.0
3. 人材育成の強化 (従業員研修等の充実・強化)	30	55.6	248	72.9	14	77.8	3	100.0	295	71.1
4. 人事・組織等の見直し (雇用拡大やリストラ等の検討含む)	25	46.3	196	57.6	11	61.1	3	100.0	235	56.6
5. 技術開発の推進	11	20.4	76	22.4	7	38.9	3	100.0	97	23.4
6. 本業以外の新たな事業への参入	6	11.1	85	25.0	5	27.8	0	0.0	96	23.1
7. 特になし	0	0.0	4	1.2	0	0.0	0	0.0	4	1.0
8. その他	1	1.9	5	1.5	0	0.0	0	0.0	6	1.4

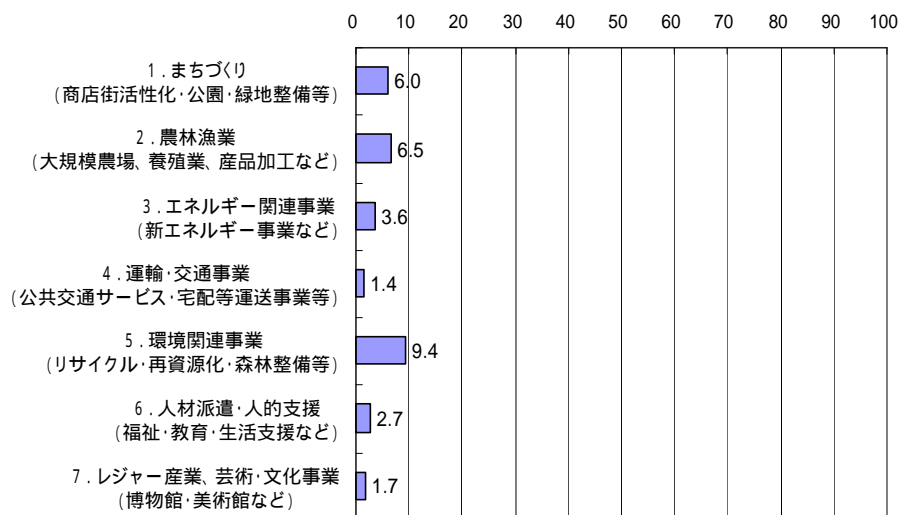
## 4. 現在の課題・取組について

問17) 問15の選択肢「6」について、本業以外の新たな事業への参入として、貴社が現在取組んでいるものについて該当するものにいくつでも 印をつけてください。

### 【全体の傾向】新たな事業展開は全般的に低調

→ 「環境関連事業（9.4%）」 「農林漁業（6.5%）」 「まちづくり（6.0%）」

### 【属性の傾向】特段の傾向なし



新たな事業展開の方向性  
(複数回答 N=415)

### 経常損益別の傾向

新たな事業展開の方向性(複数回答)	黒字		収支均衡(トントン)		赤字		総計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1. まちづくり (商店街活性化・公園・緑地整備等)	6	4.3	9	7.6	10	6.5	25	6.0
2. 農林漁業 (大規模農場、養殖業、産品加工など)	10	7.1	9	7.6	8	5.2	27	6.5
3. エネルギー関連事業 (新エネルギー事業など)	3	2.1	5	4.2	7	4.5	15	3.6
4. 運輸・交通事業 (公共交通サービス・宅配等運送事業等)	3	2.1	0	0.0	3	1.9	6	1.4
5. 環境関連事業 (リサイクル・再資源化・森林整備等)	14	9.9	11	9.2	14	9.1	39	9.4
6. 人材派遣・人的支援 (福祉・教育・生活支援など)	5	3.5	3	2.5	3	1.9	11	2.7
7. レジャー産業、芸術・文化事業 (博物館・美術館など)	2	1.4	3	2.5	2	1.3	7	1.7

## 5. 市町村アンケートとの比較

(注) 市町村アンケートの調査対象は、各開発建設部(石狩除く)毎に所在都市及び人口1万人程度の2市町村の3市町村を抽出し、計30市町村とした。

**建設業界への期待：市町村、建設業者とも同様に地域経済活性化、雇用確保を強く認識**

問) 今後、地元社会への影響力がある企業としての建設業に期待することは何か。 (複数回答)	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 積極的事業展開を通じた地元経済の活性化(経済波及効果等)	27	90.0	363	87.5
イ. 積極的事業展開を通じた雇用の場の確保	27	90.0	374	90.1
ウ. 休暇拡大等労働条件改善やワークシェア等の地元での模範	4	13.3	70	16.9

**地域との意見交換の程度：建設業者の自己評価よりも市町村は意見交換があまり活発ではないと認識**

問) これまで、建設業と地域(役所、商工会、地域住民)との間の地域の発展に向けての意見交換はどの程度行われてきたか。(単数回答) 「赤字」は建設業者に対する選択肢。建設業者は、「役場」「商工会等」「地域住民」のそれぞれに対する回答の平均	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 大変活発に行われてきた 「活発に行われてきた」	0	0.0	78	18.8
イ. 適度に行われてきた 「適度に行われてきた」	12	40.0	181	43.6
ウ. あまり行われてこなかった 「あまり行われてこなかった」	13	43.3	107	25.8
エ. 殆ど行われてこなかった 「全く行われてこなかった」	5	16.7	28	6.7

## 5. 市町村アンケートとの比較

**地域貢献活動**：本業に関する活動では、除雪や公共施設・設備の建設に関して、建設業者の取組の程度に比して、市町村の評価は高い

本業以外の活動では、市町村の認識は建設業者の実際の活動を反映（建設業者の取組の程度と市町村の認識の程度は同じ）

問) これまでの地元建設業者の地域での事業(ビジネス)活動の中で評価するものはどれか。(複数回答) <b>建設業者は取組んでいるものの割合</b>	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 地域の重要な公共施設・設備の建設	23	76.7	185	44.6
イ. 道路・河川等の公物の適切な管理	14	46.7	188	45.3
ウ. 災害時の防災・復旧活動	24	80.0	358	86.3
エ. 除雪	25	83.3	247	59.5
問) 事業活動そのものではない企業の活動としての、地元建設業者の活動としては、どのようなものが認められるか。(複数回答) <b>建設業者は取組んでいるものの割合</b>	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 地域のお祭りのイベントでの協力(幹事・協賛金等)	25	83.3	358	86.3
イ. 商工会等を通じた地域経済界での活動の展開	17	56.7	229	55.2
ウ. 挨拶運動や清掃活動などのボランティア活動の展開	21	70.0	260	62.7
エ. 地域との協働作業における建設業のノウハウを活かした役割の遂行	17	56.7	142	34.2

## 5. 市町村アンケートとの比較

本業以外の地域貢献活動の評価：建設業者の自己評価よりも市町村は高く評価

問)これまでの地元建設業者の事業活動そのものではない企業活動を総合的にどう評価するか。(単数回答) 「赤字」は建設業者の自己評価での選択肢	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 高く評価する 「高く評価」	24	80.0	74	17.8
イ. どちらでもない(高くも低くも評価しない) 「ある程度評価」	5	16.7	262	63.1
ウ. これまでのところ期待に届いていない 「評価されていない」	1	3.3	6	1.4
エ. そのような評価は考えたことがない 「そのような評価を考えたことがない」	0	0.0	42	10.1

地域防災面の活動の評価：市町村、建設業者の自己評価とも同様に地域防災面の活動を評価

問)これまでの地元建設業者の地域での防災面での活動の中には、ボランティア的な予防活動が行われている面があると考えられるが、それをどう評価するか。(単数回答) 「赤字」は建設業者の自己評価での選択肢	市町村(N=30)		建設業者(N=415)	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア. 高く評価する 「高く評価」	12	40.0	108	26.0
イ. 評価する 「ある程度評価」	13	43.3	230	55.4
ウ. 災害時にそのような活動がなされているとは認識していない 「評価されていない」	2	6.7	11	2.7
エ. 評価のしようがない 「そのような評価を考えたことがない」	3	10.0	37	8.9